

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	870 市有財産管理経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
		目	05	財産管理費
		細目	115	市有財産管理経費
基本 施策	99 対象外	細目	01	市有財産管理経費
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部署	コード	550100		担当者
	名称	伊賀支所振興課		氏名
		連絡先	徳地 美彦 45 - 9111 (内線) 233	

対象(誰を、何を)	市有地の隣接住民をはじめとする地域住民	※対象件数
成果(どうする)	枯れ木等倒木による被害の防止を図り、また草刈等により安全で快適な生活環境を提供する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	市有地の樹木伐採及び草刈業務の委託	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			市有財産管理台帳の整備率	%	目標 35 実績 35	目標 40 実績 40
未利用地の適正管理(除草委託率/要望)	%	目標 実績	目標 実績	80	80	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				処理率	%	目標 80 実績 80	目標 80 実績 80

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	413	413	652	652				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	413	413	652	652				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	4,013	4,013	4,252	4,252				

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 予算の範囲内で緊急性の高い箇所から実施	
他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	少ない予算で、緊急性の高いものから対応しています。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 予算の範囲内で、要望があった箇所、緊急性の高い箇所から実施

担当課長氏名	藤澤 義彰
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 市民の財産である市有財産を適切に管理し、住民が安全安心な生活環境を守りたい。
現時点における課題、その他	限られた予算であり、緊急性の高い箇所からの対応となっている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	委託作業が軽作業(草刈)の場合、委託先、契約単価の検討を行いたい